

事務事業 事後評価シート（令和5年度実施事業）

事務事業名	議会活動事業				事業通番	4452		
					開始年度	令和3年度		
総合計画体系	政策No.	7	政策名	町民に信頼される行政の推進		終了年度	--	
	施策No.	7-3	施策名	町民参加の推進		担当課名	議会事務局	
予算科目	会計	一般会計		款	議会費	担当係名	総務係	
	項	議会費		目	議会費	重点プロジェクト		

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町議会基本条例第13条 会津美里町議会基本条例第16条						
事務事業の概要	議会活動として必要な会議等への出席、陳情・要望活動への参加、議会だよりの発行、並びに資質・政策立案の能力向上を図るための視察研修を行う。また、図書・消耗品を整備し、スムーズな議会活動に備える。						
対象（誰、何を）	①町議会議員 ②町民						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	①資質及び政策立案能力が高まる。 ②議会活動や町民の意見、要望に対する対応等を知ることができる。						
成果の考え方	①政策提言等の件数 ②議会だよりの発行回数						
【成果指標】							単位
A 政策提言等の件数							件
B 議会だよりの発行回数							回

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移						(2) 指標の推移						上段：目標値 下段：実績値	
区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度	7年度	成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
事業費(千円)	1,596	1,580	2,293			A	2	2	2				
国庫支出金							2	1	4				
県支出金							4	4	4				
地方債						B	4	4	4				
その他							4	4	4				
一般財源	1,596	1,580	2,293										

(3) 活動実績及び成果

活動実績	①政策提言を4件を町へ提出した。内容は、決算認定に基づく提言書1件、各常任委員会の行政視察研修に伴う提言書2件、地区別意見交換会による提言書1件 ②議会だよりを年4回発行した。						
成果	①新型コロナウイルス感染症の5類引き下げに伴い、積極的に議員活動が行えるようになった。それにより、行政視察研修による町の課題等への対策案や地区別意見交換により町民の声を広く丁寧に聞くことで、貴重な意見を届けることができた。 ②定例月の会議終了後、広報広聴常任委員会による議会だより発行に向け、委員一人ひとりが積極的に関わり合い、議会モニターの意見を取り入れながら、町民に親しみやすい紙面を発行することができた。						

3. 最終評価

成果の方向性	拡充	(理由) 住民懇談会の開催方法について、より町民の声を広く丁寧に聞くことができるように検討する。また、行政視察研修の成果を共有することにより、資質・政策立案の能力向上を図り、議員活動に役立てる。
コストの方向性	現状維持	(理由) 情勢視察研修についてはZOOMを活用し、経費の増加を抑える。
今後の方向性	生産性改善	(理由) 情報を共有し、全体の能力向上を図っていく。

事務事業 事後評価シート（令和5年度実施事業）

事務事業名	広報広聴事業				事業通番	4476	
					開始年度	令和3年度	
総合計画体系	政策No.	7	政策名	町民に信頼される行政の推進	終了年度	--	
	施策No.	7-3	施策名	町民参加の推進	担当課名	政策財政課	
予算科目	会計	一般会計		款	総務費	担当係名	政策企画係
	項	総務管理費		目	広報広聴費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町町政広報に関する規則、会津美里町情報セキュリティポリシー、会津美里町公式ホームページの電子記事に関する要綱						
事務事業の概要	町民に町の情報を提供するため、広報紙を毎月発行し、自治区長を通じて町内各戸に配布するほか、町のホームページにより町内外に行政情報を発信する。 令和5年度は、リニューアル後の適切なホームページ運用管理に努め、閲覧者にとって目的のページを探しやすく、見やすく、より利用しやすいホームページとしていく。また、LINEを活用した手軽でタイムリーな情報発信をさらに推進し、町民に必要な情報をわかりやすく提供する。						
対象（誰、何を）	①町民 ②町内外の方						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	①広報紙により、必要な町の情報を得られる。 ②ホームページ及びSNSにより、必要な町の情報を得られる。						
成果の考え方	①広報紙の発行は町民への行政情報提供を目的としていることから、町民が広報紙から十分に情報を得られていると思うことが最終的な成果になると捉え、Aの指標を設定する。 ②町ホームページやSNSは、町内外の方がタイムリーに必要な情報を得られるツールであることから、町ホームページから十分に情報が得られていると思うことが最終的な成果になると捉え、Bの指標を設定する。						
【成果指標】						単位	
A	「広報紙による情報提供について、必要な情報が役場から十分に提供されている」と答えた割合						%
B	「ホームページ・SNSによる情報提供について、必要な情報が役場から十分に提供されている」と答えた割合						%

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移						(2) 指標の推移						上段：目標値 下段：実績値	
区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度	7年度	成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
事業費(千円)	5,978	17,773	7,048			A	90	90	90				
国庫支出金	35	11,000	35				85.1	85.6	88.6				
県支出金	302	337	299										
地方債						B	70	70	70				
その他	590	345	524				64.7	53.6	55.4				
一般財源	5,051	6,091	6,190										

(3) 活動実績及び成果

活動実績	・ 広報紙の掲載内容の統一化とカテゴリごとの色分けについて庁内の調整を行い、R6.4月号から紙面に反映させることとした。 ・ R5.3月にリニューアルしたホームページについて、フォーム機能を充実させるなどさらなる改善に努めた。 ・ LINEの機能拡充について検討し、R6年度から実装する目途がついた。
成果	・ 広報紙について、県の広報コンクール「1枚写真の部」で佳作入賞となった。 ・ ホームページ及びLINEについて、R6年度の改善内容を検討して予算化した。

3. 最終評価

成果の方向性	拡充	(理由) 町ホームページと町公式LINEとの連携や発信内容等を見直し、より住民にとって効果的は情報発信に努める。
コストの方向性	縮小	(理由) ホームページの維持管理が主な費用となるため縮小とする。
今後の方向性	協働化改善	(理由) ホームページはSNSや広報紙との相互連携を図り、より効果的な情報発信に努める。広報紙も高齢者やホームページが閲覧できない方にとって重要な媒体であるため、引き続き住民が見やすいように工夫していく。

事務事業 事後評価シート（令和5年度実施事業）

事務事業名	町民参加推進事業				事業通番	5110	
					開始年度	令和3年度	
総合計画体系	政策No.	7	政策名	町民に信頼される行政の推進	終了年度	--	
	施策No.	7-3	施策名	町民参加の推進	担当課名	政策財政課	
予算科目	会計	一般会計		款	総務費	担当係名	政策企画係
	項	総務管理費		目	企画費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町みんなの声をまちづくりにいかす条例						
事務事業の概要	みんなの声をまちづくりにいかす条例に基づく、町民参加による検討会議、町民懇談会、パブリックコメントなどの町民参加を推進する。また、町民参加推進会議において、条例に基づき適正に実施されているかを協議するとともに、さらなる町民参加を推進するための取組についての検討を行う。						
対象（誰、何を）	①町民 ②行政活動への町民参加						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	①町民参加の制度を普及させる。 ②行政活動への町民参加を推進する。						
成果の考え方	①町民の声を活かした町民主体のより良いまちづくりを実現するため、町民参加制度を普及させ、町民参加の機会があると考えられる町民の割合を成果として、Aの指標を設定する。 ②行政活動への町民参加を推進するため、町民参加手続きによる町民懇談会に参加した人数を成果とし、Bの指標を設定する。						
【成果指標】						単位	
A まちづくりに対して意見を言う機会があると考えられる町民の割合						%	
B 町民懇談会の平均参加人数						人	

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移						(2) 指標の推移					
						上段：目標値 下段：実績値					
区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度	7年度	成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	50	47	47			A	45	45	45		
国庫支出金							43.3	43.2	46.6		
県支出金							10	10	10		
地方債						B	12.3	20	31.9		
その他											
一般財源	50	47	47								

(3) 活動実績及び成果

活動実績	・ 条例に基づき、適正な運用と町民参加を推進するため、町民参加推進会議を2回開催した。 ・ 12件の町民参加手続きを実施した。また、町民懇談会を16回開催し、511名の方が参加された。パブリックコメントを6回実施し、61件の意見が集まった。 ・ 町民参加推進会議について町ホームページに掲載するとともに、町民参加手続実施時にはLINEを活用した周知を行い積極的に参加を呼び掛けた。
成果	・ 町民参加推進会議において町民参加の推進を図る取組について協議検討を行い、広報紙、ホームページ、LINEによる情報発信を行い町民の意識向上を図った。

3. 最終評価

成果の方向性	現状維持	(理由) 町民参加の推進を図るため、町民参加推進会議において、事業の取組や情報の発信方法等について協議検討を行う。
コストの方向性	現状維持	(理由) 最小限の経費で取り組んでいるため現状を維持していく。
今後の方向性	現状維持	(理由) 町民参加の推進を図るため、幅広い層の町民が参加しやすい環境整備や効果的な情報発信に努める。

事務事業 事後評価シート（令和5年度実施事業）

事務事業名	選挙管理委員会運営事業				事業通番	5562	
					開始年度	令和3年度	
総合計画体系	政策No.	7	政策名	町民に信頼される行政の推進	終了年度	--	
	施策No.	7-3	施策名	町民参加の推進	担当課名	総務課	
予算科目	会計	一般会計		款	総務費	担当係名	総務係
	項	選挙費		目	選挙管理委員会費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	公職選挙法 会津美里町選挙管理委員会規程 会津美里町白バラ会補助金交付要綱						
事務事業の概要	【選挙管理委員会】 選挙に関する事務及び公職選挙法に規定された事務を行う。 （選挙管理委員会委員任期）令和3年12月26日から令和7年12月25日まで 【白バラ会】 明るい選挙を推進していくため、会津美里町白バラ会に対し予算の範囲内で補助金を交付する。						
対象（誰、何を）	①会津美里町選挙管理委員会 ②会津美里町白バラ会						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	選挙の啓発活動の実施や研修会等に参加し明るい選挙を推進していく。						
成果の考え方	【指標A】 選挙の公正かつ適正な執行が確保される。 【指標B】 投票を呼びかける啓発活動を実施し投票率向上に結びつくよう選挙を推進する。						
【成果指標】							単位
A 選挙管理委員会の開催回数							回
B 白バラ会の総会、研修会、啓発活動の実施回数							回

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移						(2) 指標の推移						上段：目標値 下段：実績値	
区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(決算)	6年度	7年度	成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
事業費(千円)	623	655	625			A	8	10	10				
国庫支出金							13	10	7				
県支出金							5	5	5				
地方債						B	3	3	3				
その他													
一般財源	623	655	625										

(3) 活動実績及び成果

活動実績	【選挙管理委員会】公職選挙法に基づく選挙人名簿登録等に関する委員会を開催し、適切な選挙管理に努めた。 【白バラ会】県議選で通常の啓発活動のほか成人式において成人者に啓発冊子を配付するなど、投票率向上の取組みを行った。総会1回、研修会0回（県実施無し）、啓発活動2回（盆踊り、県議選）						
成果	【選挙管理委員会】定時登録のほか執行選挙に伴う委員会を開催し、適切な選挙管理が図られた。 【白バラ会】総会及び役員会において役員・会員間で情報共有を図るとともに、コロナ禍で実施できなかった啓発活動を再開することにより、投票への意識醸成や投票率の減少抑制が図られた。						

3. 最終評価

成果の方向性	現状維持	(理由) 現状の取組を継続して進め投票率の向上を図る。
コストの方向性	現状維持	(理由) 現状の取組内容を維持することが必要であり削減の余地はない。
今後の方向性	現状維持	(理由) 選挙啓発活動を継続的に実施し投票率の向上につなげる。